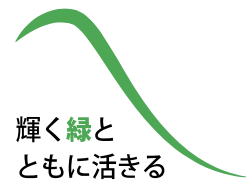
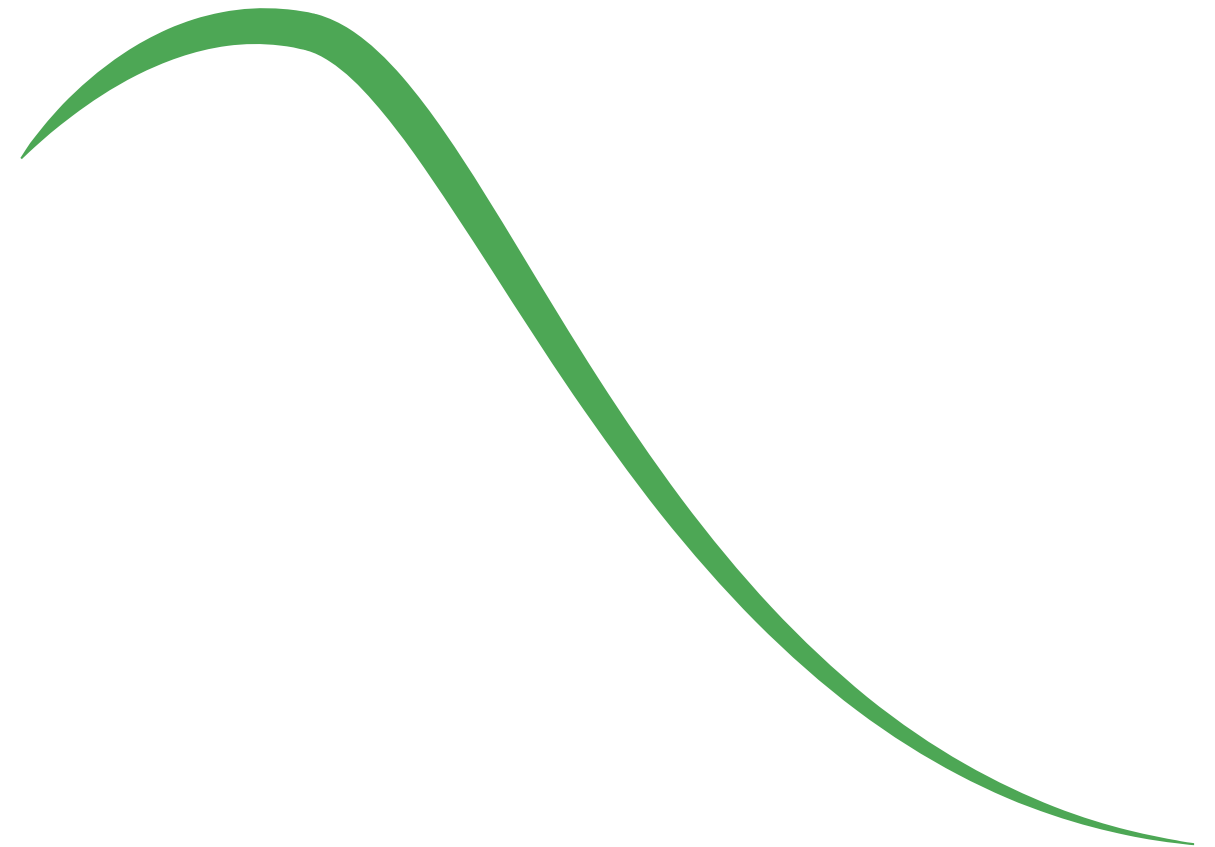


山から海へ・・・



輝く緑と
ともに生きる
ひと まち とやま



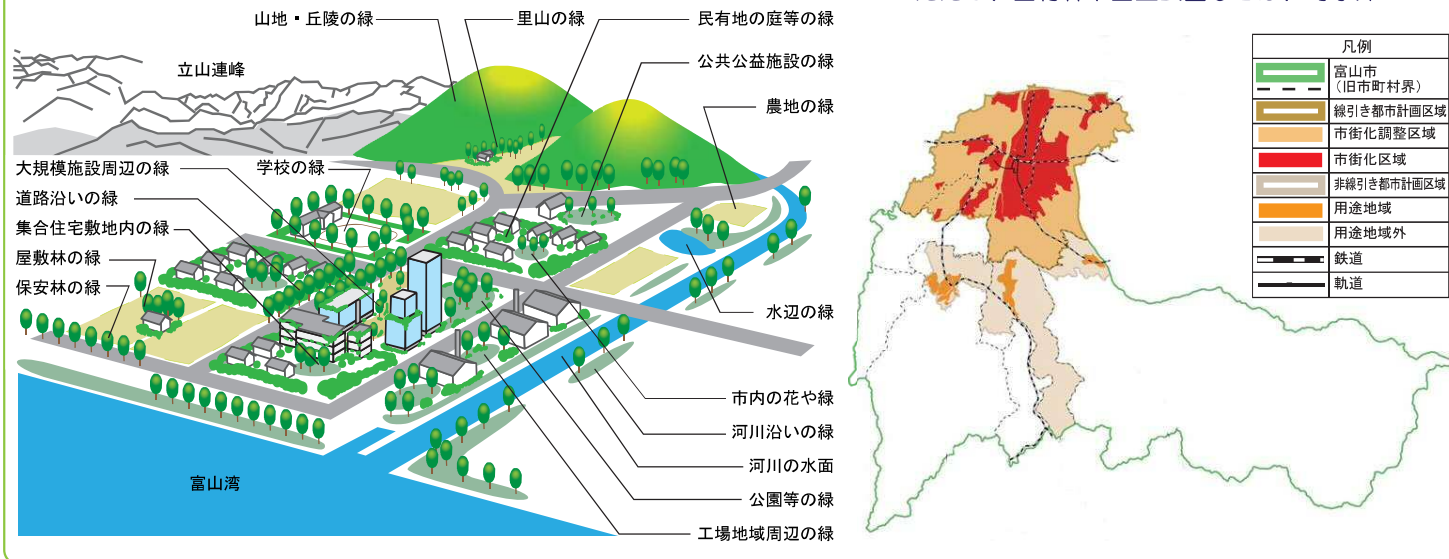
緑の基本計画とは

- 中長期的な視点から定める緑のまちづくりの指針です
- 行政が整備する公園、農地や里山の樹林地、河川敷の緑、山々の森林など公共空間だけでなく、民有地の緑化も対象となります
- 「将来像」、緑地の保全や緑化を進めるにあたっての目標のほか、実現に向けた方策を定めています
- 市民やボランティア団体等が主体となる取り組みなど、市民との協働による推進が必要となります

対象とする緑の範囲

◆樹木や草花などの植物を含む周辺の土地や空間（個人庭園の草花や街路樹、公園・広場、農地、樹林地、河川・湖沼など）が対象

◆都市計画区域を基本としながら、都市計画区域外でも一体となって保全・活用する緑までが対象
※ただし、国有林や国立公園などは、対象外



7つの視点と3つの理念



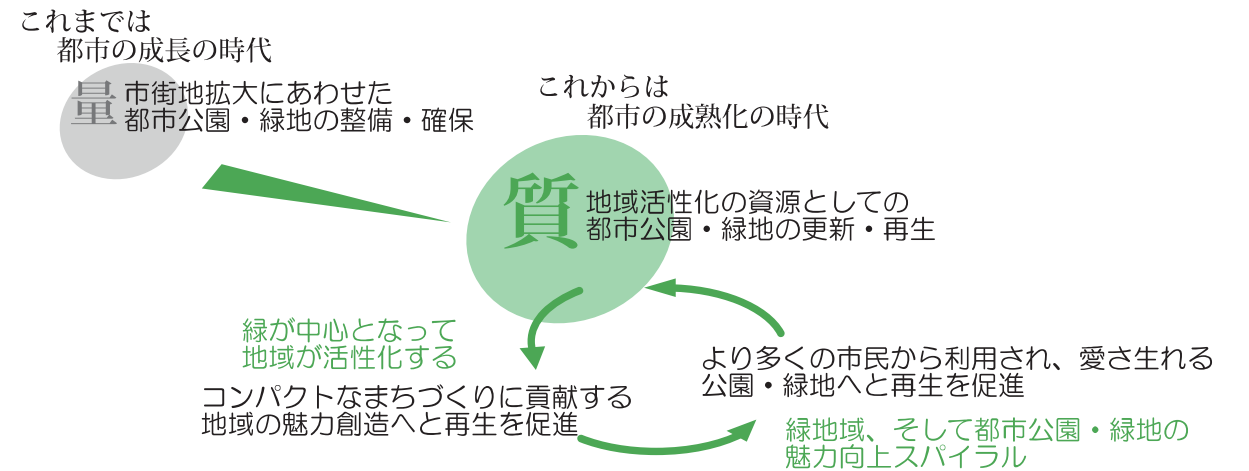
山から海へつながる緑を次世代へ引き継いでいく

立山連峰から富山湾にかけて、森林、里山・丘陵の樹林地、田園誓いの農地が広がり、これらをつなぐ神通川や常願寺川など、山から海へつながる大きな緑の広がり、水の流は、私たちの生活に欠くこのできないものです。これらの緑を大切に守り、次世代へと引き継ぎいでいかなければなりません。



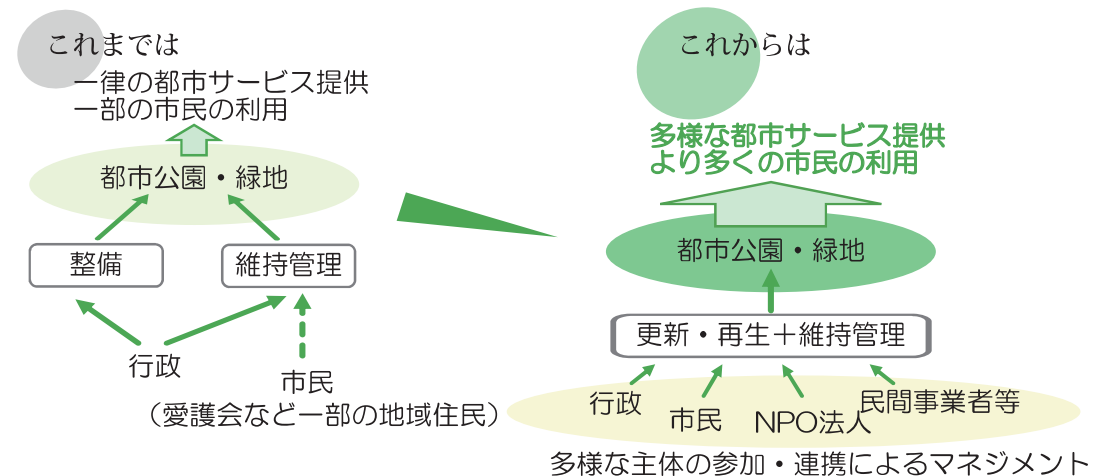
地域活性化の資源として都市公園・緑地を整備・更新・再生する

都市公園・緑地は、多様な魅力を創造する大切な資源ととらえ、地域活性化に向けて、整備・更新、そして再生していかなければなりません。



多様な主体の参加・連携のもとで緑のマネジメントを実践する

多様な主体の参加・連携のもとで、緑の質の向上や魅力創造を目指し、戦略的に緑を育て、維持管理する「緑のマネジメントの実践」に取り組んでいかなければなりません。

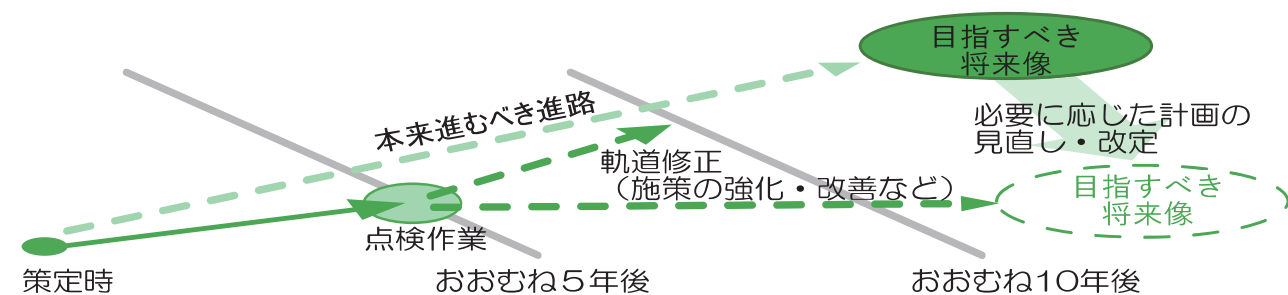


目標年次

平成 46 年度【計画期間:おおむね20年間】

計画の推進

計画の進捗については、おおむね5年ごとを目安に点検作業を実施し、必要な計画の修正を行います。



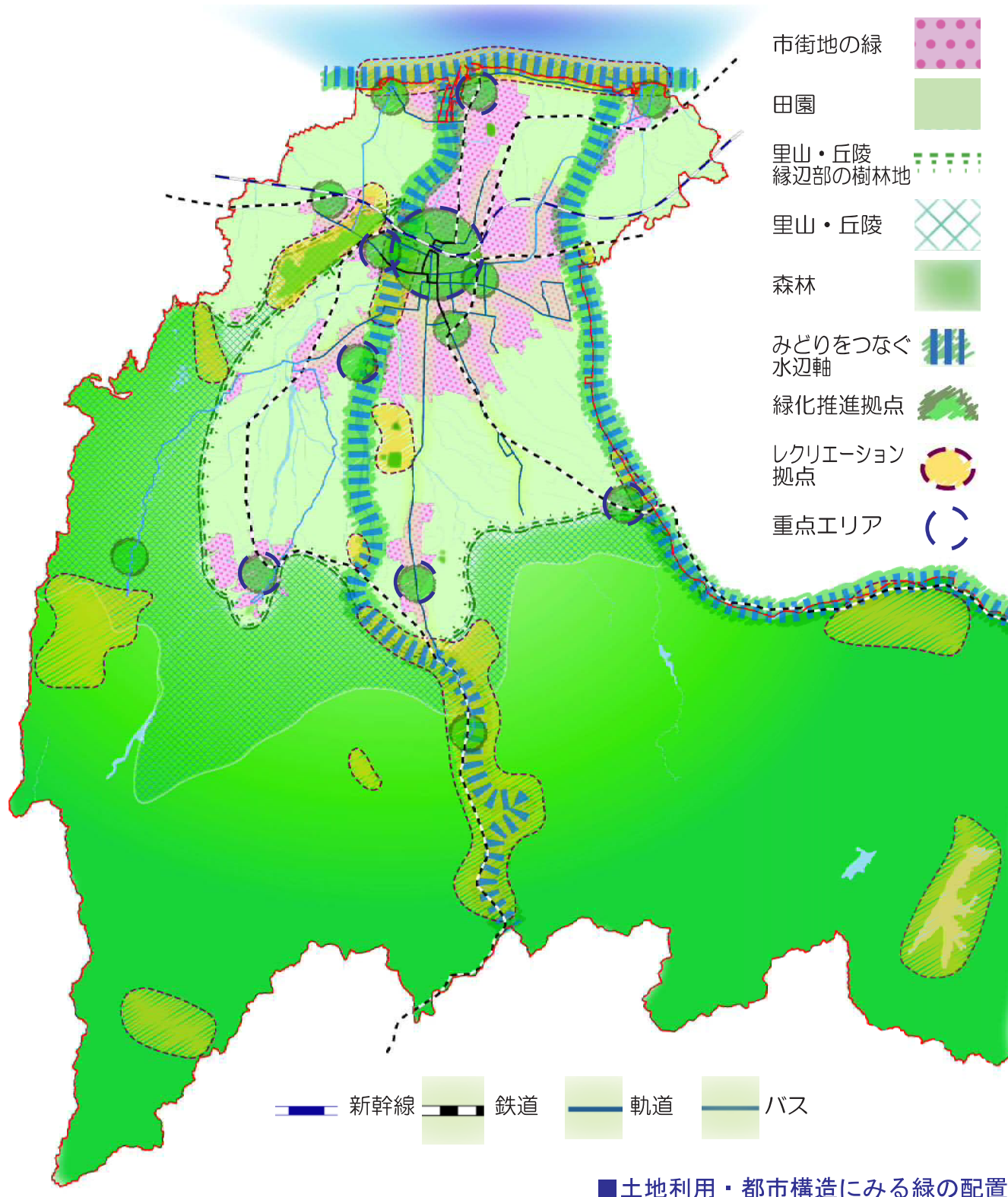
緑のまちづくりの課題

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 緑の形成の骨格となる山地・河川等の保全 | 市民主体の緑化活動の促進 |
| 里山・田園環境の保全・活用 | 緑のまちづくりへの理解・意識醸成と人材育成 |
| 公園・緑地の再整備と必要な見直し | コンパクトなまちづくりへの寄与 |
| 既存公園のネットワーク化 | |

緑の将来像

山から海へ 輝く緑とともに生きる ひと まち とやま

標高 3,000m級の立山連峰の山々から水深 1,000mの富山湾へとつながる、ダイナミックな水の流れを活かし、豊かな恵みを生み出す緑とともに暮らし、新たに形づくり、地域の資源として磨きをかけることで、市民、地域、そして富山市全体の活力が生まれ、魅力が高まっていく、まちづくりを目指します。



基本施策と主要指標・目標

方針 富山の原風景をつくり・伝える 緑を守る <保全>

方針	主要指標・目標	①富山市の骨格をなす緑地の保全	森林整備面積 169ha (H25) →200ha (H35)	市民満足度 (森林機能の再生・強化) 49.3% (H25) →60% (H35)
		②多様な動植物の生息環境・生態系の保全	市民満足度 (生態系の保護・回復) 47% (H25) →60% (H35)	
		③里山・田園環境の保全・活用	農地面積 13500ha (H25) →緩やかな減少でなるべく維持したい	
		④歴史的・文化的・地域景観をつくる 緑の保全	保存樹木本数 399本 (H25) →緩やかな減少でなるべく維持したい	

方針 人をもてなし、暮らしを豊かにする 緑をつくる <創造>

方針	主要指標・目標	①もてなしのみちまち緑化の推進	緑視率 5% (H25) →10% (H35)	
		②市民ニーズにマッチした 都市公園・緑地の整備・更新・再生	都市公園・緑地面積/人 14.8㎡ (H25) →15.0㎡ (H35)	公共交通沿線都市公園・緑地面積割合 49.9% (H25) →50% (H35)
		③都市公園・緑地と多様な 都市サービスとの連携促進	民間事業者等が公園を活用したサービスを図り、相互利用 することで管理の充実を図れるようマッチングを進めます。	
		④緑づくりの牽引役となる 公共施設緑化の推進	地域緑化推進地区数 25地区 (H25) →50地区 (H35) →全地区 (H46)	
		⑤緑のトレイルネットワークの形成 (歩ける緑のネットワーク)	河川や街路樹、市街地の緑化推進を通じて、都市公園・ 緑地をつなぎ、ネットワークづくりを進めます。	

方針 輝く緑へと育む <マネジメント>

方針	主要指標・目標	①やる気を引き出す緑化の啓発・奨励	花いっぱいコンクール等応募総数 93件 (H25) →150件 (H35)		
		②緑の情報提供・発信と環境教育の推進	緑に関わる情報の提供・ 発信と、環境教育を 推進します。	花いっぱいコンクール等 応募小学校数 15% (H25) →30% (H35)	花いっぱいコンクール等 応募中学校・高校数 0% (H25) →10% (H35)
		③緑のまちづくりを担う人材育成	イベント・講習会等さまざまな機会を通じて緑化に かかわる専門知識を持った市民を育成します。		
		④多様な主体の参画促進に向けた 仕組みづくり	アダプト制度管理公園割合 (街区公園) 95% (H25) →97% (H36) →100% (H46)		
		⑤緑のまちづくり情報の見える化と 活用の推進	緑にかかわる情報の見える化を推進します。		

重点プロジェクト

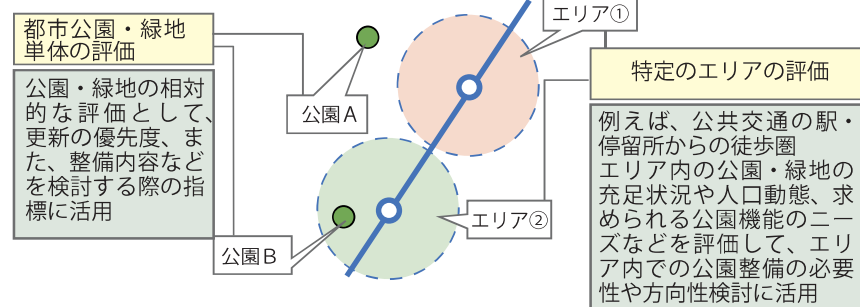
戦略1 地域の魅力創造につながる都市公園・緑地の更新・再整備、再生を進めるための仕組み・取り組みを展開します

重点プロジェクト1 「富山らしいパークマネジメント」の確立

(1) 都市公園・緑地の評価システム構築

- ◆データベースの構築
- ◆都市公園・緑地の評価・点数化

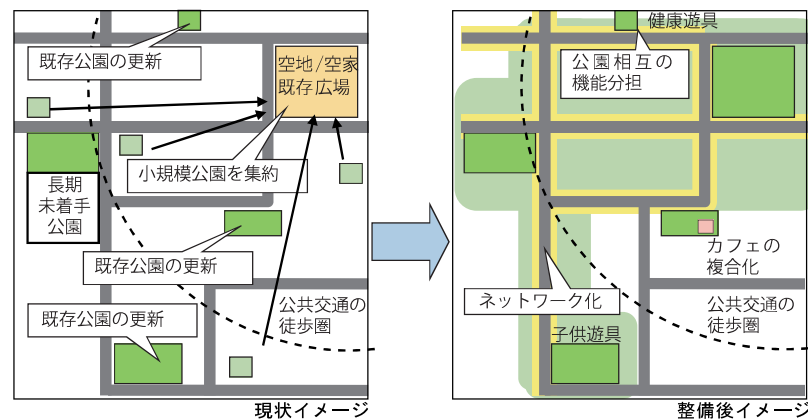
評価の構成イメージ



(2) 都市公園・緑地の再配置・整備・再生計画の策定

- ◆小規模都市公園・緑地の再編計画の検討
- ◆長期整備未着手公園の見直し
- ◆都市公園・緑地の更新計画の検討

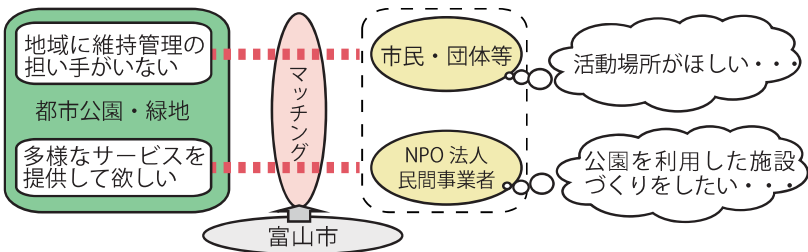
都市公園・緑地の再配置・整備・再生イメージ



(3) 緑の担い手マッチング制度の構築

- ◆市民・団体等とのマッチング制度
- ◆多様なサービスを提供する民間事業者等とのマッチング制度

緑の担い手マッチング制度のイメージ



(4) 地域活性化に向けた都市公園・緑地の魅力化

- ◆都市公園・緑地の新たな魅力創出
- ◆緑のトラスト制度
- ◆子ども自然体験・学習の場の提供

重点プロジェクト1 「富山らしいパークマネジメント」の確立

(1) (2) (3) (4)

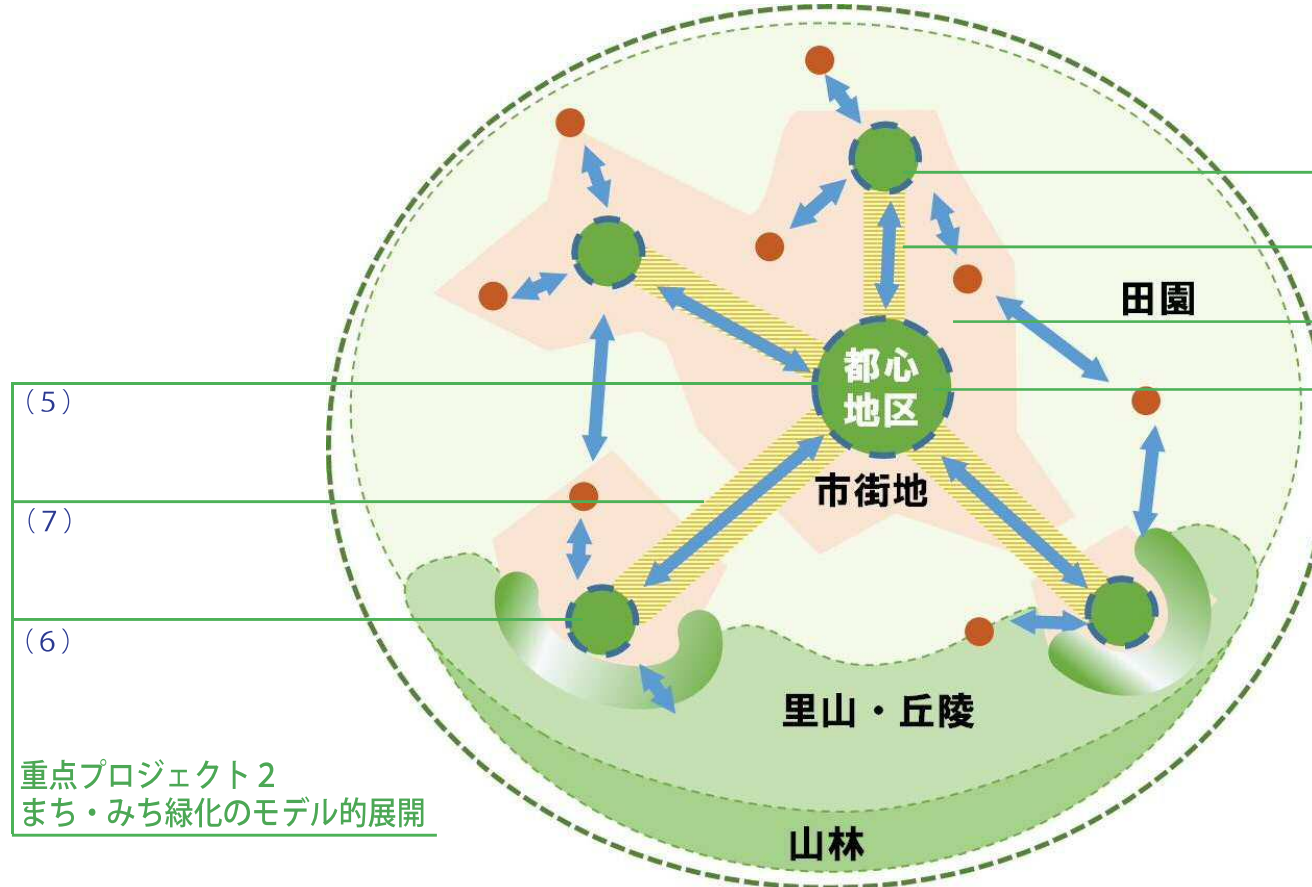
全市

重点プロジェクト3 まち・みち緑化の担い手育成

(8) (9)

- 重点エリア
- 里山・丘陵縁辺部の緑
- 緑のトレイル { 河川・用水 街路樹 + 公共交通網
- 公共交通の利便性が高い区域
- 地域資源

重点プロジェクトの展開イメージ



重点プロジェクト2 まち・みち緑化のモデル的展開

戦略2 公共空間の緑に連続した建物の緑化の普及・促進、良好な地域景観の重要な要素となる里山・丘陵縁辺部の樹林地の保全、多様な資源のネットワーク化のモデル的に展開します

重点プロジェクト2 まち・みち緑化のモデル的展開

(5) まちなかの屋上・壁面緑化の促進

- ◆緑のルールづくりの促進
- ◆建物の緑化活動への支援
- ◆建物の緑化のPR・情報提供

(6) 里山・丘陵縁辺部の樹林地の保全方策の検討

- ◆保存樹木・樹林による保全の推進
- ◆樹林地の保全方策の検討
- ◆市民等の参画による樹林地の保全に向けた仕組みづくり
- ◆樹林地の保全に向けた機運醸成

(7) 緑のトレイルづくり

- ◆水辺のネットワークの形成
- ◆緑の回遊ルートづくり
- ◆公共交通網を活用したネットワークの形成



戦略3 緑化活動の担い手となる人材の発掘・育成、緑化活動への意識・機運の醸成に向けた情報発信に取り組みます

重点プロジェクト3 まち・みち緑化の担い手育成

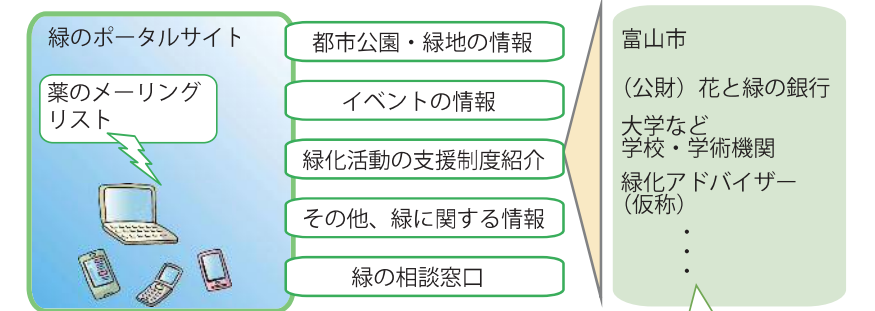
(8) 地域の力を引き出す 緑のまちづくりの展開

- ◆コミュニティガーデンの普及・促進
- ◆若い力による緑の維持管理の担い手発掘の仕組みづくり
- ◆緑化アドバイザー（仮称）の発掘・育成

(9) 緑の情報発信

- ◆緑のポータルサイトの構築・運営
- ◆植物をテーマとして人を育てる場の設置
- ◆緑の相談窓口の設置
- ◆葉のメーリングリストの検討

緑の情報発信のイメージ



様々な主体の連携による運営